

文部省頒布反刻
小學指教圖入門全

K110
2,34

A 1
65.2



左右兩頁露光量調整、重複攝影

以下 虫損資料

文部省藏版

小學指教圖八門

明治十五年翻刻 忠雅堂

水積蛟龍

生

吳望易題



小學指教圖八門

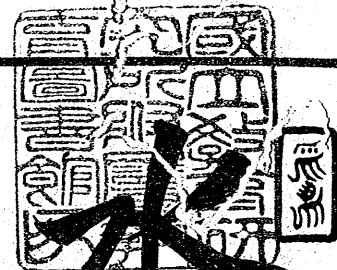
左右兩頁露光量調整、重複攝影

以下 虫損資料

文部省藏版

小學指教圖八門

明治十五年翻刻 忠雅堂



水積蛟龍生

易堂易題



小學指教圖八門

文部省

小學指教圖 第一

い	る	は	に	ほ	へ	と	ち
り	ぬ	る	を	あ	か	よ	た
れ	ろ	つ	ぬ	な	ら	む	う
ゐ	の	た	く	や	ま	け	ふ
こ	は	て	あ	さ	き	ゆ	め
み	し	急	ひ	ち	せ	す	

五十音

小 學

ア	カ	サ
イ	キ	シ
ウ	ク	ス
エ	ケ	セ
オ	コ	ソ

指 教 圖

夕	ナ	ハ	マ
チ	ニ	ヒ	ミ
ツ	ヌ	フ	ム
テ	子	ヘ	メ
ト	ノ	ホ	モ

第二

ワ	ラ	ヤ
井	リ	イ
ウ	ル	エ
エ	レ	エ
ヲ	ロ	ヨ

濁音

指教圖

ハ	バ	ザ	タ	ガ
ヒ	ビ	ジ	チ	ギ
フ	ブ	ズ	ツ	グ
ペ	ベ	ゼ	テ	ゲ
ポ	ボ	ゾ	ト	ゴ

省 部 文

小學指教圖入門



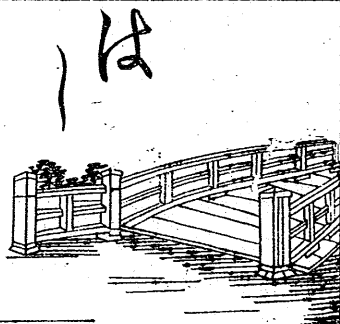
あ



い



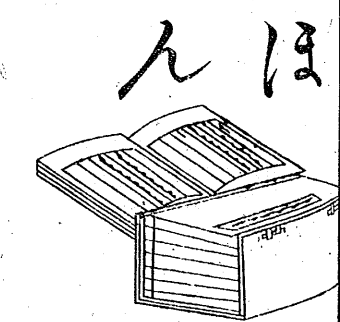
え



は



か



く

五

三 第

百 六 一 二

千 七 二 三

九 四 片

十 五 ヲ

小學指教圖入門

小學

指教圖



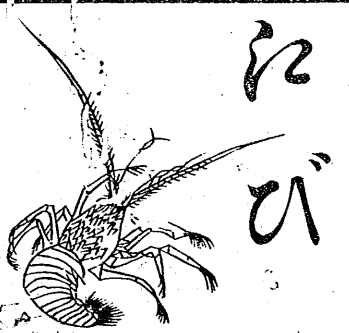
ろば



むぎ



くわ
お
る



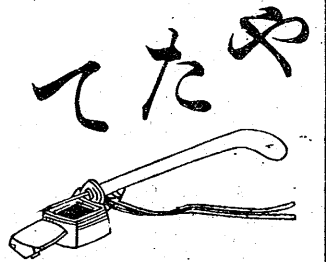
に
び



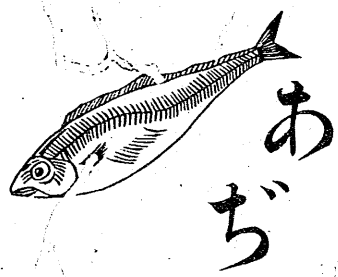
つ
ち



う
づ
ら



や
た
て



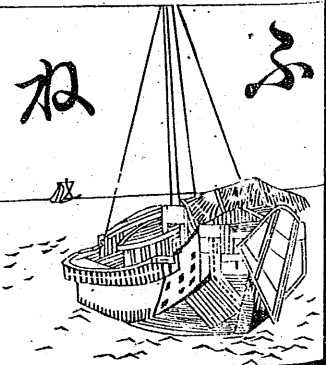
あ
ぢ



な
べ



お
も
た
や



ふ
ね



さ
る

小學指教圖入門

小學指教圖入門

省 部 支

四 第

ひた



ひ

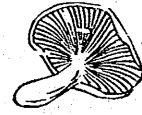


は

りどよひ



このま

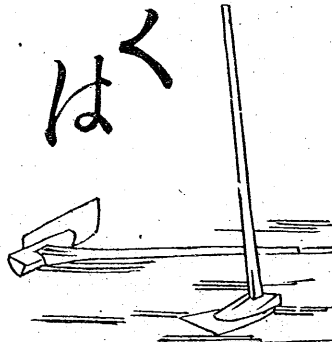


こ



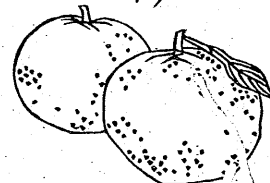
こひ

はく

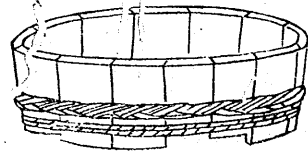


せみ

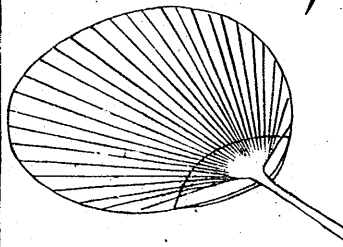
すゆ



ひらた



はちう



すたれ



めろ



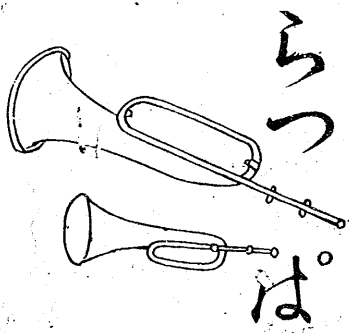
小學部支圖

小學部支圖

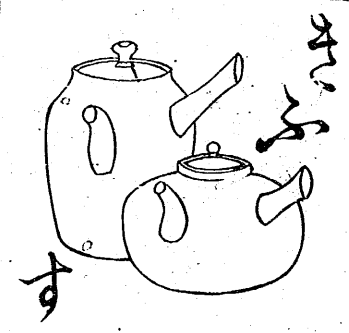
〇七

指 教 圖

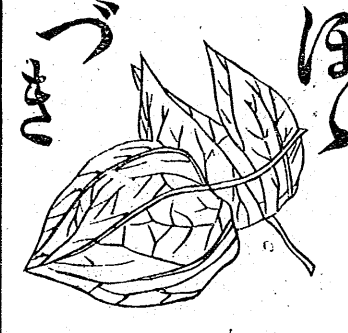
小 學



らつ
ぱ



きふ
す



づ
ほ



い



つす
ほん



ゆふ
がほ



みかほ
ね



は
へ



あう
い



うのふ
ど



がさわ
ほ



る
か

小 學 教 育 用 圖 畫

小 學 教 育 用 圖 畫

。ハ

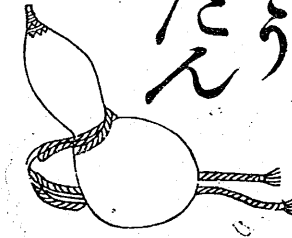
省 部 文

五 第

小倉百人一首

小倉百人一首

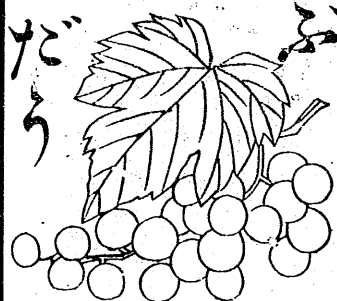
たん へん



ば ぼう



ぶ だう



か ふう



め ぼう




や ぼう



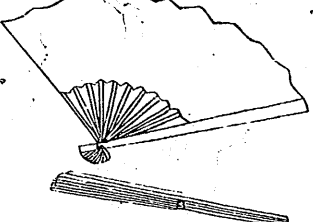
かい だう



さ ぼう



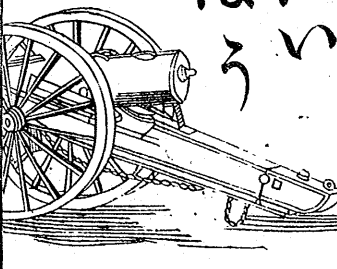
あ ぼう



せ ぼう



たい ぼう



ら ぼう



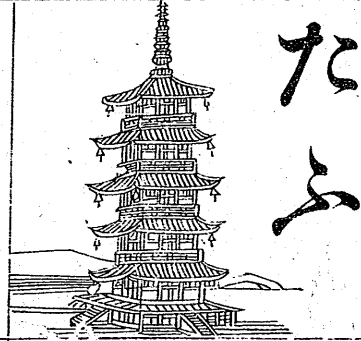
九

小 學

指 教 圖

小 學 圖 畫

小 學 圖 畫



た
ふ



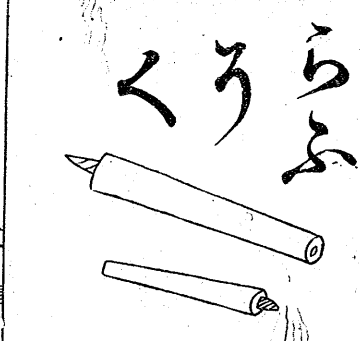
や
ん
く



よ
ぎ
ん
き



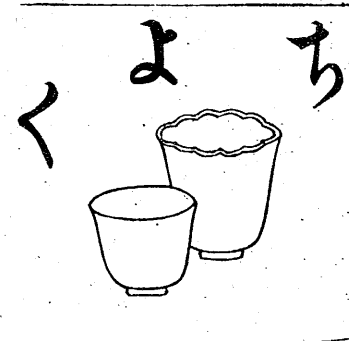
し
ゆ
ろ



く
う
ら
ふ



じ
く
や
ん



く
よ
ち



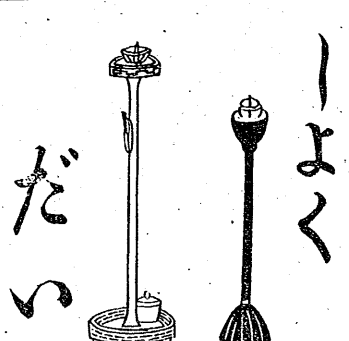
あ
く
あ
す



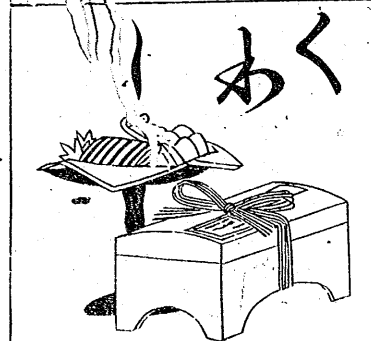
て
ふ
く



く
や
ち
ん
ま



し
よ
ん
だ
い



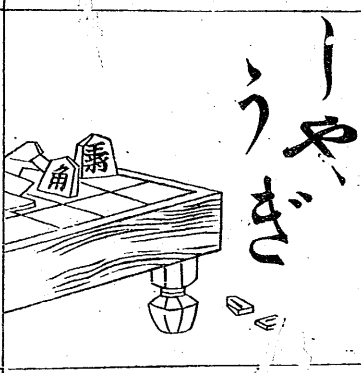
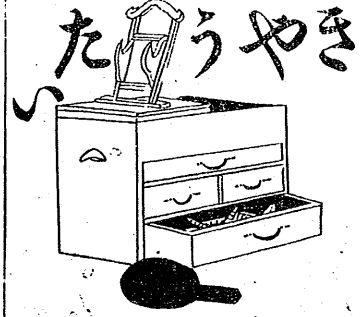
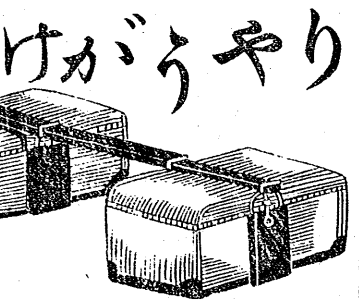
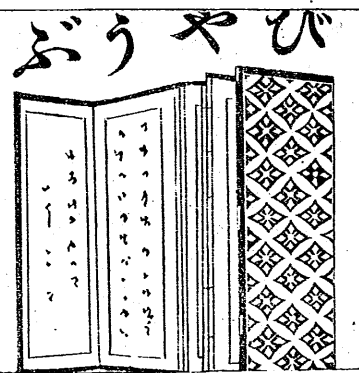
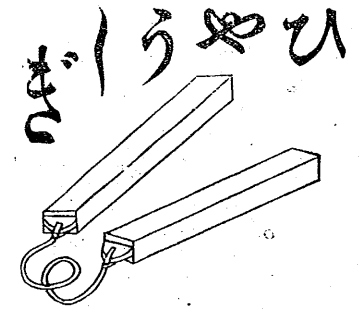
あ
く

十



算術の教授圖

第六



文部省

小學指教圖

乘算呼聲
(九九合數)

一一一	一一二	一二一	一二二	一三三	一四三	一四四	一五五
一六六	一七七	一七八	一八八	一九九	二二二	二二四	
二二六	二四八	二五八	二五九	二六二	二七二	二七四	
二八六	二九八	三三九	三四二	三五五			
三六八	三七二	三八二	三四四	三九二	三七七	四四六	
四五二	四六二	四七二	四七八	四八三	三十二	四九三	三十六
五五二	五五五	五六三	五七三	五七五	五八四	四十五	五九四
五九五	五九四	六六三	六七四	六八四	六八八	六九五	五十四
七五五	七五九	七六三	七八六	七九四	七九七	七九八	八十一

文部省

小學指教圖

加算竝

減算呼聲

一九足十
二八足十
三七足十

四六足十
五五足十
六四足十

七三足十
八二足十
九一足十

一引九殘
二引八殘
三引七殘

四引六殘
五引五殘
六引四殘

七引三殘
八引二殘
九引一殘

文部省

小學指教圖

除算呼聲

上

(九歸法)

一進一十二添作五二進一十三一三十一三二六十二	三進一十四一二十二四二添作五四三七十二四進一十	五一加一五二加二五三加三五四加四五進一十	六一下加四六三三十二六三添作五六四六十四六五八十二	六進一十七二下加三七二下加六七三四十二七四五十五	七五七十一七六八十四七進一十八一下加二八二下加四	八三下加六八四添作五八五六十二八六七十四八七八十六	八進一十九一下加一九二下加二九三下加三九四下加四	九五下加五九六下加六九七下加七九八下加八九進一十
------------------------	-------------------------	----------------------	---------------------------	--------------------------	--------------------------	---------------------------	--------------------------	--------------------------

文部省

小學指教圖

除算呼聲

下

(撞除法)

見一無頭作九一

歸一倍一

見二無頭作九二

歸一倍二

見三無頭作九三

歸一倍三

見四無頭作九四

歸一倍四

見五無頭作九五

歸一倍五

見六無頭作九六

歸一倍六

見七無頭作九七

歸一倍七

見八無頭作九八

歸一倍八

見九無頭作九九

歸一倍九

一第圖語連

神	人	天地	萬物	主宰	善道	信義
祖父	祖母	父母	伯父	叔父	伯母	叔母
親	子	兄弟	姊妹	親愛	友愛	

神ハ天地の主宰なりて人を萬物の靈なり ○善道を以て身と脩め 信義を以て人々交る ○親との間の親愛を主とし 兄弟の際え 友愛を専らし ○親の父を 祖父とし 親の母を 祖母とし ○親の兄弟を 伯父叔父とし 親の姊妹を 伯母叔母とし



二第圖語連

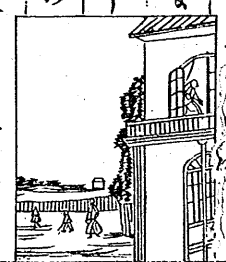
學校	書物	手習	算術	事物	文字
授業	午前	午後	運動	遊歩	

學校より出でて 書物を讀み 又手習をば ○書物は事物の理を知り 手習は文字の形を學ぶ ○授業の始は午前七時 授業の終は 午後三時 たり ○讀み書きの外は 算術を學ぶべし ○遊歩を為すは 運動のため 運動を爲すは 氣を散り 體を養ふが為 運動をすれば 又 書物を讀み 手習し 算術を學ぶ



連語圖第三

其處 此處 何處 何時 往 歸
 彼の 此の 是 近き 遠き 町里
 朋友 親類 學問 智識 家業 富
 君ハ其處ニ居テ書物ヲ讀ミ予モ此處ニ
 在リテ手習フ彼ノ小兒モ何處ニ往キ
 ヤ此女子ハ何時歸ルカ彼ハ近き處ノ
 朋友ノ宅ニ往キ是ハ遠き處ノ親類ノ家ヨリ歸ル
 近き處ハ二三町ニ在リ遠き處ハ五六里ニ餘リ 彼の
 朋友ハ常ニ學問ヲ好み是ノ親類ハ能ク家業ヲ勵ム
 學問ヲ好ム智識ヲ増シ家業ヲ勵ム富ヲ致ス



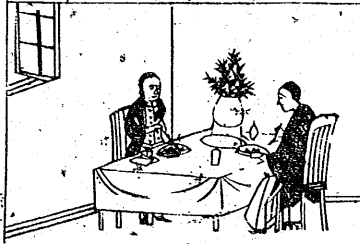
連語圖第四

地球 日月 晝夜 今年 去年 春
 夏 秋 冬 東 西 南 北 風 雨
 霜 雪 寒 暑 雷 林 叢 花開 蟲鳴
 地球ニ日ヲ周リテ轉リ月ハ地球ヲ隨ヒテ環ル
 日ノ影ヲ晝トイヒ日ノ隠キテ夜トイフ
 冷クシテ霜早ク今年ノ春ハ暖クテ雨多ク
 春ノ月ニ氷ニ開キ夏ノ夕ハ叢ニ蟲鳴
 多ク冬ニ北風 夏ハ暑クテ雷鳴り冬モ
 寒クシテ雪降ル 暑キ時ハ草木茂リ寒キ時ハ氷凍ル

小學館文選八月

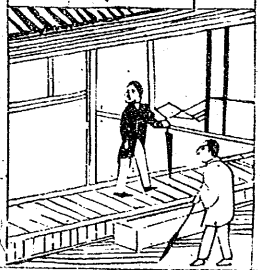
連語圖第五

穀類 魚類 獸肉 鳥肉 野菜 菓物
 水 乳汁 煎草 養生 健康 勉強
 日太の久しき所、穀類魚類を食し西洋の人、常に
 獸肉煎草を食す。野菜ハ煮たる
 を食す。煎草ハ菓物を熱せざるを食
 ふ。かろび。氷と乳汁ハ健康を
 友をけ酒と烟草ハ養生ハ害あり。○
 勉強は健康より生り健康も養生
 より来る。○養生の人ハ食物と飲
 物をえらび勉強の者ハ朝寝と晝寝を戒む



連語圖第六

衣服 木綿 麻 絹 毛織 單 帷子
 裕 綿入 襦袢 羽織 帽 袴 長靴
 足駄 草履 履
 衣服の料ハ木綿あり又麻絹毛織あり
 暑き時ハ薄き衣服を著寒き時ハ厚き
 衣服を著。○薄き單帷子ハ厚きを
 裕綿入。○裕ハ合せたるもの綿入ハ
 綿入ハ。○肌ハ貼くるハ襦袢。○表ハ見ゆる
 ハ羽織。○帽ハ。○袴を著る。○雨の時ハ足駄をまき
 又長靴をはく晴の時ハ履を穿る。又履をまき



連語第七

大工 左官 家柱 屋根 下地 軒 中塗 上塗
 棚 押ハ 墨 石机 書架 墨 硯 筆
和漢 西洋 庭池 春秋景色 月夕眺望
 大工ハ造り左官ハ塗を塗る○家ハ柱を立てて後マ
 屋根でふき壁ハ下地を作りて後マ土をぬる○屋根より
 軒を上げ中塗より上塗をかく○棚押入をつけ 墨 硯 筆 具
 を入る○我邦の家ハ木を作り 西洋の家ハ瓦石を疊せ
 ○前マ机を居る後マ書架を置く○机マ墨 硯 筆 紙を載せ
 書架マ和漢西洋の書を積めり○庭マ花を栽え
 池マ多くの魚を畜ふ○春秋の景色も朝夕の眺望も

連語第八

起 卧 饑 飽 賢 愚 富 貧 老 幼
 教 問 恥 覺 藝 誨 厭 急 緩 走
 歩 躓 疲 無益 有用 珍 賤 弄 棄
 朝マ五時は起き夜ハ十時は卧を働く時の勞を厭はざ食する
 とき飽くを求めバ賢き人ハ事を習ひ愚
 なる人ハ物を寐ふ知らぬ事ハ知りたる
 人ハ問ふおぢバ覺えバ藝ハ覺えぬ者マ
 誨ハ厭まバ急マ走るときハ速けきバ躓くときハ緩
 く歩むときハ遅けきバ疲るるときハ少ク無益の物ハ珍しく
 雖弄むからバ有用の物ハ珍しく棄つべからず



九第圖語連

前後左右 勉 難 易 早 遲 破 堅固
 長短 強 弱 優 劣 剛 柔 曲 折 撓 逆
 前より後へ 前より後へ 後へ必おろそかとなり 左を乃
 みあつても 右へ必ひきくとなる ○勉むるとい 惰らぬこと
 惰るとい 勉むるとい ○勉むる時のかさき事も成り易く
 惰る時 易きことも成り難し ○早く成るもの 破る易く
 遅くなるもの 堅固なり ○長きはほくれが 反りて 短き
 劣る事なり 弱きを守れば 遂は強きは優るときなり ○剛き
 もの 折ることなり 柔なるもの 曲ることなり 撓るに折
 らぬもの 剛の徳 曲るに逆らうざる 柔の徳なり

十第圖語連

秤目ハ 十毛を 一釐といひ ○十釐を 一分といひ ○十分
 を 一匁といひ ○十匁を 一貫目といふなり
 尺の名ハ 十毛を 一釐といひ ○十釐を 一分といひ ○十
 分を 一寸といひ ○十寸を 一尺といひ ○十尺を 一丈と
 いふなり
 升目ハ 十斗を 一石といひ ○十斗を 一合といひ ○十合を
 一升といひ ○十升を 一斗といひ ○十斗を 一斛といふ
 地割ハ 六尺四方を 一坪といひ 又 一步といふ ○三十歩を
 一畝といひ ○十畝を 一段といひ ○十段を 一町といふ
 路程ハ 六十間を 一町といひ ○三十六町を 一里といふ

明治十五年三月十七日反刻御届
今年全月出版
代十

大坂府平民

反刻又
赤志忠七

東區本町四丁目十二番地

堺區神明町 鈴木久三郎

全 今井重兵衛

全 京町堀二丁目 松田正助

林工部集 清水及列全八冊 論語義疏全五冊

近世業語 山續全八冊 蘇東坡絕句全三冊

心堂詩文鈔全四冊 詩作捷徑全九冊

奇談 笑翁一冊 日本諸家人物誌 小本四冊

直心齋道藏 白紙摺裝全三冊 必雅新選書畫一覽 懷中本全二冊

唐本和宋書畫帖賣買所

忠雅堂 赤志忠七版

伏阪本街心齋橋